



2022

1

January

No.725

Contents / 目次

- 2 年頭のご挨拶
- 6 謹んで新年のご挨拶を申し上げます
- 8 2021フォトフラッシュバック
- 13 新型コロナワクチン3回目接種について
- 15 暮らしの告知板

謹んで新春のお慶びを申し上げます
令和4年 元旦



泊村スポーツ大使 レッドイーグルス北海道 主将 橋本 僚選手 応援ツアー (11月27日)



年頭のご挨拶

泊村長 高橋 鉄徳

新年明けましておめでとうござ
います。

村民の皆様におかれましては、
ご健勝で健やかに新年をご家族と
ともに迎えのことと心からお慶
び申し上げます。

私は令和二年一月、多くの村民
の皆様の温かいご支援のもとに村
長に就任させていただきました。

年が改まって、就任三年目を迎
えるわけでありますが、昨年は大
きな課題が山積する中であって、
泊村に住むすべての皆様が、安心
して「育ち・学び・働き・元氣」
に生活でき、そして誰もが将来に
希望を持てるよう「安心と希望の
ある村づくり」のため、全力で取
り組んでまいりました。

この間、村議会をはじめ村民の
皆様の温かいご指導、ご協力を賜
りましたことに対して、改めて厚
くお礼申し上げます。

さて、昨年は一昨年から続く、
新型コロナウイルス感染症が拡大
し、村民の皆様方には、各種行事
やイベント等の中止、国や道から
の緊急事態宣言による不要不急の

外出自粛等、そして、感染予防対
策に取り組んでいただき、厚く御
礼申し上げます。

村としても、昨年5月10日より
ワクチン接種を開始して、皆様の
ご理解、ご協力によりまして、1、
312名の方が接種を完了してお
り、全国的にも国民の7割以上が
接種をしていることから、感染者
数が減少しているところでありま
すが、世界的にはオミクロン株の
発生によりまして、感染が拡大傾
向にあり、国内においても感染が
確認されておりますので、皆様方
には引き続き感染予防対策等にご
協力いただきますよう、お願い申
し上げます。

村も現在3回目のワクチン接種
に向けて、準備をしているところ
であり、前回同様、迅速な接種が
できるよう努め、新型コロナウイルス
感染症が一日も早く収束し、
村民の皆様が元の日常の生活が送
れるよう、念願をするものであり
ます。

泊村にあつては、基幹産業であ
ります水産業は、依然として厳し

い状況でありまして、イカ漁にお
いては数年来の不漁が続いており、
そして新型コロナウイルス感染症
の拡大による魚価安も相まって、
漁家経営は非常に厳しい状況であ
ります。

そのような中、村としても漁協
や漁業者の方々と協議しながら、
昨年11月に盃カブト分區を活用し、
トラウトサーモンとサクラマス
の試験養殖を開始し、現在今年6月
頃の初出荷を目指し、村、漁協、
漁業者が一丸となって取り組んで
いるところであります。今年はず
らに飼育数を増やし、試験をして
まいります。

また、再生可能エネルギー導入
可能性調査において温泉熱を利用
したエビの陸上養殖も検討してお
り、現在は実証試験に向けての、
基本設計を行っており、専門家を
含めた検討委員会において、色々
な角度から鋭意検討されていると
ころであります。このように今年
もつくり育てる漁業を更に推進し
て、将来的に漁家収入の向上に資
する事業となるよう、また地域の
特産品になり、より一層地域振興
が図られるよう関係機関と協力し
ながら進めてまいります。

また、商工業においても、水産
業同様に新型コロナウイルス感染

症の拡大により厳しい状況ではあ
りますが、プレミアム商品券発行
事業や地域応援券発行事業等によ
り、少なからず、一定の経済効果
があったと思うところであります。

今後も、販売状況や村民の皆さ
んのご意見を伺った中で、引き続
き泊村商工会と検証・協議をしな
がら、より村民の皆様にも有効活用
していただけるような販売方法につ
いて更なる検討をまいります。

その他、原油価格の高騰による
灯油等の価格高騰により影響を受
けている家計への支援の一環とし
て、1世帯2万円の灯油等購入助
成券を交付、火災警報器の設置費
の一部助成、防災関係では、昨年
度に引き続き4箇所の避難所に自
家用発電機の設置工事を実施し、
災害時に迅速に防護資機材や非常
食等が供給できるように、役場前
に防災倉庫建設、さらにはコロナ
禍における避難所開設に対応する
ためプライベートが確保される災
害用テント及び折りたたみベッド
を購入、泊小学校においては盃地
区の防災拠点施設となるよう、原
子力災害や一般災害にも対応でき
る原子力防護対策工事を実施致し
ました。

住民生活に係わる事業について
は、本村の主要村道である泊村通

線の側溝改修と舗装工事を実施、新茅沼左岸通線も継続で側溝等を改修、昨年度からの継続事業である泊浄水場前処理施設新築工事、茅沼浄水場改修工事等、各種事業も順調に実施することができました。

また、村民の皆様から強いご要望がありました温泉施設については、村と議会がそれぞれ組織を作った中で、昨年は住民の皆様アンケートを実施させていただき、その結果をもとに、村、議会のそれぞれの組織で鋭意検討しており、まとまった時点で議会とも協議した中で、方向性を導いてまいりたいと考えております。

原子力発電所については、運転停止がされてから、九年以上が経過し、原子力規制委員会の新規制基準適合性審査が長引いている状況であります。事業者には一つ

一つ課題をクリアして、住民の皆様の安全と安心が確保されるよう、最大限の努力を期待するものであります。

年頭にあたって、村政執行状況の一端をご紹介しました。泊村の現状は重要案件が山積しております。村民の皆様のご意見を伺った中で、お知恵を拝借し、そして村議会の協力をいただいで、一つ一つ着実に実現させなければなりません。

先人から受け継いだ泊村をより発展させ、安心と希望のある村づくりに職員一丸となって全力で取り組んでまいりたいと存じますので、より一層のお力添えをお願い申し上げます。

村民の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り致しまして、年頭のご挨拶といたします。



年頭挨拶

泊村議会議長

宇留間 文宣

新年明けましておめでとうございます。

令和4年の年頭にあたり、村議会を代表致しまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

まずもって、村民の皆様におか

れましたは、ご健勝で輝かしい新年をお迎えになられました事を心からお慶び申し上げます。

日頃から、私共の議会活動に対する暖かいご理解と絶大なご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。

一昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大によるコロナ禍という未曾有の事態の中、昨年も村民の皆様におかれましても、ご不便な生活を強いられて参りました。ここに、新年を迎え、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願うものであります。

ご承知のとおり、今日の市町村を取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化社会の到来、更には、気候変動による産業構造の変化、厳しさを増す財政状況等、大変厳しい状況におかれております。

国、地方の関係をめぐる一連の行財政改革は財政力の弱い小規模町村に、より深刻な影響を及ぼし、個性豊かな地域づくりに支障をきたし、更には、地域間格差が広がっているのが現状であります。

このような中であって、本村としても、克服すべき多くの課題を抱えており、行政に対する期待は、その質、量とも、益々複雑多様化している状況にあります。

また、本村の原子力発電所関連の各種交付金や固定資産税等の収入は、減少の一途にあり、創意工夫をもって、健全財政を別途としながら、昨年4月より、泊村の向う10年間の計画「第5次総合計画」がスタートし、この計画の実

現によって、村民の生活環境が更に向上されて、「泊村に住んで良かった、住んでみたい」と村民誰もが将来に希望が持てるよう「安心」と「希望」を感じることができるよう、

近年、気象の変動に伴う海水温上昇は、泊村の基幹産業である漁業に大きな影響を与え、漁業不振が続く、更には、低気圧崩れの大時化による漁具被害等多発、また、新型コロナウイルス感染症拡大による魚価の下落等、漁家経営は、昨年也大変厳しい年でありました。基幹産業である水産業の低迷・不振は、村経済全体に大きな影響を及ぼします。

昨年、「獲る漁業からつくり育てる漁業」への変革等を見据え、盃カブト分区において「トラウトサーモン・サクラマス試験養殖事業」が着手されたところであり、今後、泊村の基幹産業が振興発展されるようにご祈念申し上げます。

また、平成23年3月11日に発生しました、東日本大震災並びに福島第一原子力発電所の大災害、更には、平成30年9月6日未明に発生しました北海道胆振東部地震での厳しい状況を教訓として、より一層の防災対策、より一層の安全対策に取り組むとともに懸案であり

ます、避難道路等の確保に向けて着々と取り進んでおります。

私共議決機関と致しましては、郷土泊村に「誇りと愛着の持てる村づくり」の推進に向けて、今後更に創意工夫を重ね、慎重審議に努め、泊村の更なる振興発展を目指して、努力を重ねて、村民皆様のご期待に応えるべく、議員一同



令和4年 知事年頭所感

北海道知事 鈴木直道

新年明けましておめでとうございます。皆様とともに新しい年を迎えられたことを大変うれしく思います。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染者数が増減を繰り返す予断を許さない状況が続く中、感染拡大地域における外出自粛や飲食店等の営業時間短縮など様々な制限を余儀なくされ、社会経済活動に大きな影響が及びました。

この間、私としては、何よりも道民の皆様の命と暮らしを守ることを最優先に、国や市町村などと連携し、感染症への対応に最善を尽くしてまいりました。道民の皆様、事業者の方々には、長期にわ

決意を新たにしておりますので、どうぞ本年も、相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、新しい年が村民の皆様にとりまして、明るく幸多い良い年でありますように、心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

たり多大なるご理解とご協力をお願いしたこと、改めて感謝申し上げます。

感染症との闘いが続く中においても、昨年は本道が有する価値が国内外で大きな注目を集めた年となりました。7月には、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されたほか、8月には、札幌で開催された東京オリンピックのマラソン・競歩競技に先立ってアイヌ舞踊が披露され、世界に発信されるなど、本道固有の歴史や文化への関心が高まりました。また9月には、バーチャルでの開催ながらアジア初となったアドベンチャートラベル・ワールドサミット2021を通じて、北海道の

自然・異文化体験・アクティビティの魅力が世界に紹介され、2023年のリアル開催内定にもつながりました。そして10月には、苫小牧市などにおいて、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のオンラインによる御臨席を賜り全国育樹祭が開催され、本道発祥の「木育」の輪を全国に広げる好機となりました。

また、大規模な物産展の開催が難しい中での首都圏スーパーにおける北海道フェアの成功や、「どさんこプラザ」の羽田空港と大阪あべのハルカスへの新規出店は、発想の転換によりピンチをチャンスに変え、本道の食の魅力を最大限活かし、新たな需要獲得につながる取組となりました。

本年においても、新たな変異株への警戒を最大限に高めながら、感染拡大を抑え、再拡大への備えに万全を期すとともに、社会経済活動との両立に取り組んでまいります。医療・療養体制については、全道で2、028床の最大確保病床数を確保しているほか、それを超える事態も想定し、新たに2、214床の緊急フェーズを設けるとともに、三次医療圏すべてで宿泊療養施設を運用してまいります。また、社会経済活動の回復に向けて、ワクチン接種を円滑に進める

とともに、どうみん割をはじめとする各種需要喚起策を通じて、感染防止行動を実践しながら日常生活を取り戻していく取組を進めてまいりますので、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さらに、本道の揺るぎない価値を一層磨き上げながら、コロナ禍に伴う人々の考え方や行動の変化を背景に、積雪寒冷の気候や広域分散型の地域構造など、これまで本道にとってハンディとされてきた特性を新たな強みとして確立するとともに、脱炭素化やデジタル化といった社会変革の動きを的確に捉え、ポストコロナを見据えた「攻め」の視点を持つて果敢に挑戦してまいります。

特に、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボン北海道」の実現に向けては、国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを活かした道内各地域の脱炭素化の取組を支援するとともに、道自身も公用車の次世代自動車化等により2030年までの50%削減に取り組みなど、オール北海道で目指す姿を共有します。

また、ICTやAIなどの技術を活用した未来社会「北海道S.O.

city5.0」の実現に向けては、道民の皆様の視点に立った行政サービスのデジタル化や遠隔医療・遠隔教育、スマート農林水産業など地域の実情を踏まえたデジタル化の取組を加速します。

こうした将来の成長につながる政策の種をまき、道民の皆様と

もに育て、これからも本道が持続的に発展していけるよう全力で取り組んでまいります。

新しい年が、皆様にとりまして、新たな希望と飛躍に向けたスタートラインとなりますよう、心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



令和4年 年頭あいさつ

北海道後志総合振興局長

天沼 宇雄

新年、明けましておめでとうございませう。皆様には平素から道政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染は予断を許さない状況が続く、後志管内においても外出自粛や飲食店の営業時間短縮などにより、様々な分野に大きな影響が生じました。

振興局としては、感染拡大防止に全力で取り組んできたところであり、この間、地域の皆様にも、長期にわたり多大なるご理解とご協力をいただき、改めて感謝を申し上げます。

また、ワクチン接種については、当初、一部の自治体でワクチンの供給が不足する状況が見られたも

関連などの投資も継続しています。

振興局としても、さらに多くの皆様に関心を持っていただけるよう、地域交通の維持・確保はもとより、新たな交通網を活かした地域交通ネットワークの構築に向け、引き続き取り組んでまいります。

また、昨年、本道でワールドサミットがオンライン開催されるなど、注目が高まっているアドベンチャーリズムをさらに盛り上げていくため、道外プロモーションや動画を使ったPR、マウンテンバイクのセミナーや初心者体験会を実施したほか、後志の食材のリゾートホテルなどへの販路拡大を目指した商談会も開催しました。今後とも、アフターコロナを見据えた食と観光の取り組みを行ってまいります。

雇用分野の取組としては、夏季の農業などの人材確保ニーズへの対応として、マッチングによる通年雇用化に向けた取組を継続するとともに、後志ならではの国際的な環境を活かし、若者を対象とした外資系リゾートホテル等でインターンシップを行う「Shiribeshi留学」などを通じて、グローバル・シチズンシップの育成を図り、多様な人材を地域に呼び込む取組を引き続き進めてまいります。

管内の基幹産業の一つである農業では、水稲の作況は「良」となった一方、6・7月と続いた記録的な高温・少雨により、一部の地域ではジャガイモなどの品目で収量の減少が見られたところでは、管内では、新規就農者によるワ

イナリー開設や、薬用植物の食用化に向けた取り組みが始動しており、振興局としてもICTを活用したスマート農業の普及に向け、推進会議を開催するなどし、農家人口の減少や労働力の確保に対応するための新たな取り組みを行っています。

今後とも、後志の農業の持続的発展のため、地域の皆様と一体となって取り組んでまいります。

水産業では、スルメイカ、イカナゴの漁獲が落ち込む一方で、スケトウダラ、ブリの漁獲が大きく増加し、サケやナマコは魚価が上昇するなど、漁獲金額の総額は、前年を上回る状況となっています。

振興局では、管内の漁港での魚類養殖試験の開始に先立ち、漁港内のしゅんせつを行うとともに、生けす導入等の施設整備に係る経費補助を行ったほか、ニシンの加工利用の拡大に向けた成分分析にも着手したところです。

今後とも国が掲げる「水産資源の

適切な管理」と「水産業の成長産業化」の両立により、浜で頑張る漁業者の皆様が将来にわたって安心して漁業を営むことができるよう、日本海漁業の振興に、継続して取り組んでまいります。

林業では、林業人材の将来における安定的な確保につなげるため、北の森づくり専門学院の学院生の地域見学実習や短期就業体験研修の受入れ、後志の魅力伝えるPRイベントを引き続き実施したほか、新たに長期就業体験研修の受入れを開始しました。

また、管内のリゾート地域における地域材を利用する動きを後押しするため、リゾート関係者向けの地域材利用施設見学バスツアーを開催しました。

本年もこれらの取組を継続して行い、地域の皆様との連携を図りながら、林業の担い手の確保・育成及び地域材利用促進の取組を進めてまいります。

近年、日本各地においては、台風や集中豪雨などによる大規模な災害が頻発しております。幸いなことに後志管内では、ここ数年は人的被害に及ぶような自然災害は発生していませんが、万が一に備え、日頃からしっかりとした防災意識を持つことが重要です。この

ため、効果的な防災訓練の実施により防災意識の向上を図るなど、今後とも地域住民の皆様、関係機関と連携し、安全、安心に暮らせる地域づくりに取り組んでまいります。

また、地球温暖化が急速に進行する中、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、地域の実情に合わせた取組を進めるため、振興局内に「後志地域ゼロカーボン推進室」を新たに設置し、ゼロカーボン対策に向け始動したところです。

今後も、後志のすばらしい自然豊富な地域資源など、後志が全道に誇れる優位性を活かしながら、地域一丸となって持続可能な地域づくりに取り組んでまいります。

私としては、特色ある一次産品や国際リゾートエリアを有する後志ならではの特性を活かし、地域の皆様との連携を一層深めながら、世界中の人々を魅了する後志を目指し、活力ある地域づくりに取り組んでまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとって、希望に満ちた素晴らしい一年となることを心から祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



役 場

村 長	高橋 鉄徳
副 村 長	加藤 哲朗
会計管理者	押切 秀幸
総務課 長	伊名野 巖夫
企画振興課 長	藤田 秀也
財政課 長	吉田 直樹
住民福祉課 長	宮下 常美
健康支援課 長	田原 常寧
産業課 長	外村 一幸
建設水道課 長	久々江 隆宏
保育所 長	石井 正孝
	ほか職員一同

教育委員会

教育長	高山 誠
教育長職務代理者	寺井 義則
委 員	本間 恵子
	外村 真紀
次 長	櫻井 晶浩
	ほか職員一同

監査委員

沼畑 耕智
鎌田 耕行

議 会

議長	宇留間 文宣
副議長	吉田 茂樹
議員	三浦 弘文
	長尾 透
	結城 智
	鎌田 耕行
	飯田 有二
	滝本 一訓
	河村 勝

表彰審議会

委員	菊地 智之
	寺井 義則
	宇留間 文宣
	川村 隆之
	高橋 巖一
	工藤 澄子
	小林 洋二
	檜垣 馨
	宮谷 秀吉
	菊池 文秀

特別職報酬等審議会

宮谷秀吉
二瓶幸雄
小林洋二
寺井義則
菊池文秀

泊村情報公開審査会委員

吉田茂樹
二瓶幸雄
宝喜敢秀
宝喜敢秀
工藤澄子
木村充夫

固定資産評価審査委員

三島静雄
武井大三
本間芳男

選挙管理委員会

委員長 小林勇悦
委員長職務代理者 高橋巖一
委員 沼崎徹
委員 菊池文秀

岩内・寿都地方
消防組合泊消防団

団長 工藤卓也
副団長 北端克郎

岩内・寿都地方消防
組合消防署泊支署

井上英美
ほか団員一同

支署長 小林範夫
副支署長 二瓶智幸
ほか職員一同

行政相談員

高橋巖一

人権擁護委員

大橋芳之
本間芳男

有線放送施設運営委員会

会長 宇留間文宣
副会長 寺井義則
三浦弘文
池守力
高橋巖一
草薙博昭

社会教育委員

委員長 草薙博昭
副委員長 高橋巖一
委員 宇留間文宣
浦寄昌明
山本康博

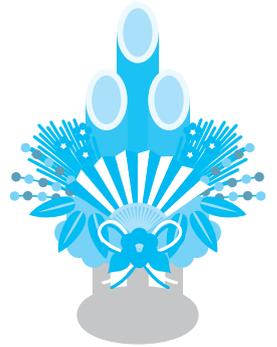
泊村学校給食
共同調理所運営委員

宮下俊一
妹川達也
細井信一
小塚喜見枝
小塚喜見枝
藤巻みや子

会長 對馬真人
副会長 山本康博
委員 竹谷ゆかり
高岡順子
高岡順子
小森聖子
工藤友恵
齋藤美樹雄
浦寄昌明

民生委員・児童委員

会長 武井大三
副会長 大橋敦子
委員 沼崎徹
金子純子
小林勇悦
小林ふさ子



公営住宅入居者
選考委員会

主任児童委員

米田フミ
梅澤稔一
高橋巖一
妹川教二
福森武二
藤巻みや子
立花孝子

委員 結城有智
飯田幸二
二瓶幸雄
高橋巖一
妹川教二
武井大三

泊村障害支援区分
認定審査会

会長

黒澤慎司
黒田康文
山田奈央子
土野美和子
福森幸子



2021年 昨年はこのことがありました フォトフラッシュバック



3月3日
とまり保育所ひな祭り



2月2日
育児ママ交流会(節分)



1月10日
泊村成人式



4月6日
泊小学校入学式



4月2日
保育所入所式



3月24日
泊村スポーツ・文化表彰式



4月20日
「地産地消」～地元でとれたものを地元で消費すること～



4月15日
交通事故死ゼロ4500日表彰



4月7日
中学校入学式



7月3日
泊小学校大運動会



6月7日
泊中学校陸上記録会



5月12日
防火広報用品配布



8月17日
ひまわりの絆プロジェクトinとまり



7月27日
泊中学校野球部(共和町との合同チーム)
全道大会出場報告



7月14日
「包括連携協定」及び「災害時における物資の緊急・救援輸送等に関する協定」締結に係る協定書手交式



9月24日
泊小学校人権教室



9月14日
とまり保育所じゃがいも掘り



8月26日
泊村スポーツ大使にレッドイーグルス北海道
主将 橋本 僚選手が就任



10月28日
令和3年度泊村原子力防災訓練



10月5日
体験して学ぶ「ものづくり」の世界について



10月2日
とまり保育所うらんど会



11月16日
経済産業省資源エネルギー庁表敬訪問



11月15日・27日
トラウトサーモン・サクラマス養殖試験事業開始



10月29日
泊浄水場前処理施設が完成!運転開始



12月20日
泊小学校1日防災学校



12月1日~6日
村政懇談会



11月27日
泊村スポーツ大使レッドイーグルス北海道
主将 橋本 僚選手応援ツアー

地産地消

～地元の食材が給食に！～



これまで学校給食の食材費は、すべて保護者の支払う給食費で賄われていましたが、今年度より村の一般会計からも50万円の予算を計上して、村でとれた食材を古宇郡漁協から調達させていただき、地産地消の取り組みが行われております。

また、漁協女性部の皆様にも、魚を切り身にするなどのご協力をいただきました。本当にありがとうございます。

これまでは、春のさくらます、夏のブリ、秋からは鮭が提供されています。

取材した日は、泊で水揚げされた鮭を使った「鮭のちゃんちゃん焼き」が振舞われました。子供たちは「美味しい！」と目を輝かせて、教室には笑顔があふれていました。次の地元食材のメニューが楽しみです。



岩内・寿都地方 消防組合 泊消防活動報告



海難防止啓発活動について

昨年从今年にかけ、兜千畳敷において海中転落死亡事故が2件発生したことを受け、11月19日（金）、20日（土）、21日（日）の3日間にわたって岩内警察署・泊村役場・泊消防は、釣り人に対する海難事故防止を呼び掛ける合同啓発活動を実施いたしました。

兜千畳敷などの海岸で釣りをしていた約250名に、安全に釣りを楽しんでもらうため、ライフジャケットの着用や天候確認を促すチラシを配布しました。



11/27

泊村スポーツ大使 レッドイーグルス北海道 主将 橋本 僚選手 応援ツアー

11月27日に「橋本 僚選手応援ツアー」を実施しました。苫小牧市白鳥王子アイスアリーナで行われました「レッドイーグルス北海道VS横浜GRITS」の熱戦を観戦。泊ブルーマリーンシャークスの選手及び親御さんも応援ツアーに参加。エスコートキッズも行い、目を輝かせて橋本選手を応援しました！

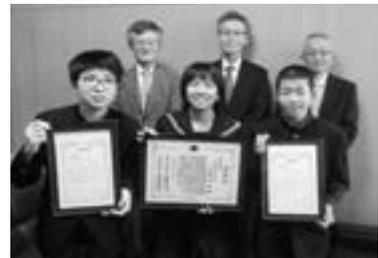


12/10

第40回全国中学生人権作文コンテスト表彰

第40回全国中学生人権作文コンテスト札幌地方大会（札幌法務局など主催）で、泊中学校の大橋令依さん（1年）の作文が奨励賞を受賞し、12月10日、泊中学校で人権擁護委員の大橋芳之さんから表彰状が伝達されました。

札幌法務局管内139校、4,522編の作品の中から、「インターネットとは」と題し、インターネットの在り方について記していました。また、外村和夢さん（1年）、小林一樹さん（1年）の作文も同大会俱知安地区大会において優秀賞を受賞し、俱知安人権擁護委員会の菊地勇事務局長から伝達されました。



とまり保育所 消防訓練

12月8日（水）とまり保育所の消防訓練を実施しました。

訓練では、火事が発生後に先生の誘導により各クラスの居室から遊戯室への避難をしました。

訓練後には子ども用の防火服の着装体験及び消防車の見学をし、記念撮影をしました。

園児たちは、真剣に先生方のお話を聞き大変素晴らしい訓練となりました。



取材日記

サクラマス養殖事業開始

11月29日、トラウトサーモンに続いてサクラマスの養殖事業を開始しました。

27日に稚魚が搬入、盃漁港荷捌所でサクラマスを海水に馴れさせる作業を2日かけて行われ、29日朝、盃漁港内（カプト分区）内に設置した生簀に放流されました。来年6月を目処に出荷される予定であり、成長が楽しみです！

また、養殖作業に伴い、11月から6月までカプト分区内は車両進入禁止となりました。村民の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



茅沼建設工業(株)が内閣府特命担当大臣表彰受賞を高橋村長に報告

12月17日、茅沼建設工業(株)の草薙博昭社長・二瓶幸雄取締役が来庁され、11月25日に令和3年度「子供と家族若者応援団表彰【子供・若者育成支援部門】」において内閣府特命担当大臣表彰を受けたことを高橋村長に報告しました。

これは、平成13年6月以降、毎年地域の祭典の際に会社総出で参加し、地域振興や子どもたちとのふれあい、つながりを深めるため社屋前の駐車場にテントを設営し、手作りの料理を無料で提供、また地域の小学生や幼児にお菓子を提供するほか、地元小学生を対象に道路や橋梁の大切さを学ぶ体験学習などといった活動に対して、受賞されたものです。



新型コロナワクチン接種 接種証明書の申請について

～マイナンバーカードで接種証明書（電子版）が取得できるようになります～

12月20日より、新型コロナウイルスワクチン接種の接種証明書（国内・海外用）がスマートフォンで申請・取得できるようになりました。希望される方は下記のとおり必要書類をご確認の上、申請くださいますようお願い申し上げます。

1. 電子申請（電子版の接種証明書）(国内用・海外用)

日本政府が公式に提供する『新型コロナワクチン接種証明書アプリ』をインストールし、必要事項を入力することで電子版の接種証明書が発行できます。

【申請に必要なもの】

- ①スマートフォン（iOS 13.7以上、Android 8.0以上）
- ②マイナンバーカード
- ③マイナンバーカードの券面入力補助用暗証番号（4桁）
- ④パスポート *海外用を希望される方のみ

2. 窓口・郵送申請（紙の接種証明書）(国内用・海外用)

【申請窓口】健康支援課（総合福祉センター2階）

【申請に必要なもの】

- ①申請書
- ②海外用を希望される方 ➡ パスポート
国内用を希望される方 ➡ 本人確認書類
- ③接種券（医療従事者等で接種券を使用していない場合は接種記録書の写し）

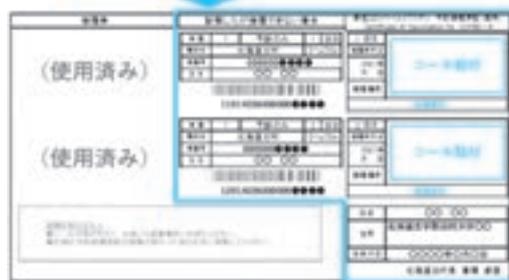
*代理人の申請については、委任状の提出が必要です。

*接種日時時点で住所のある市区町村で申請が可能です。

*必要書類が提出できない場合、接種証明書の発行に時間を要する場合がありますのでご了承ください。

〈接種券見本〉

申請に必要な部分はこちらです



接種済証について

接種済証については、国内での接種事実を証明するものとして引き続き活用可能です。紛失等による再発行を希望される方は、健康支援課までお問い合わせください。

<問い合わせ先 健康支援課 健康支援係（総合福祉センター内） 電話：65-2278>

泊村の新型コロナワクチン 3回目接種について

泊村では、新型コロナワクチンの3回目接種に向け、現在準備をすすめているところです。現時点で予定しております接種方法等についてお知らせしますのでご確認ください。

なお、国の動向に合わせ、接種時期等が変更となる場合もありますが、対象者の皆様には個別にお知らせを送付しますので、必ずご確認くださいませようご協力をお願い致します。

○対象者

1・2回目を接種した、18歳以上で、2回目の接種から8ヶ月以上経過した方

○開始時期

医療従事者の方・・・ 12月（岩内町の医療機関）

一般の住民の皆様・・・ **2月から**を予定

※時期が来た方から個別にお知らせを送付します。

国の動向に合わせ変更となる可能性があります。

○実施場所

茅沼診療所

○実施方法

1・2回目同様、日時を決めて茅沼診療所にお越しいただきワクチンを接種します。

希望される方には送迎も致します。

○使用予定ワクチン

ファイザー社製ワクチン コミナティ筋注（1・2回目同様）

○今後の予定

1回目のお知らせ・・・**接種予定日の3～4週間程度前に送付**



接種を希望しない方、日時の変更希望のある方、
送迎が不要となった方等の連絡を受ける



2回目のお知らせ・・・**接種予定日の2～3週間程度前に送付**（日程確定のお知らせ）



*その他

5歳から11歳のお子さんへの新型コロナワクチン接種については、現在国で進める方向で検討されているところですが、早ければ2月頃から対象となる予定です。こちらにつきましては、管内で接種体制について検討を進めているところであり、国からの方針が出されましたら、対象の方々へご案内させていただきます。

<問い合わせ先 健康支援課 健康支援係（保健センター内） 電話：65-2278>

冬の大地震に備えて

冬の大きな地震では、強い揺れや津波による被害に加えて、雪や寒さによる二次災害も予想されます。以下に注意して日頃から備えておきましょう。

1. 雪に対する備え

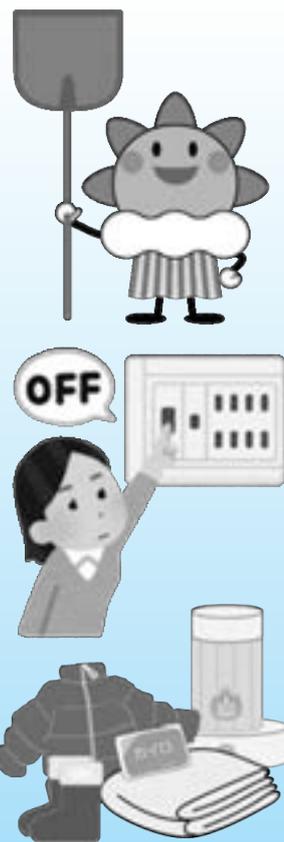
地震で強く揺れた時、屋根に雪が多く積もっていると落雪や家屋倒壊の恐れがあります。落雪に巻き込まれたり、避難路がふさがったりするので、そのような場所には普段から注意しておきましょう。また、山沿いや傾斜地の雪崩危険箇所を市町村ホームページなどで確認しましょう。雪道や凍結路は歩きづらい上、降雪時は移動しにくくなります。冬場も安全・確実に通れる避難路を見つけておくことが大切です。

2. 火災に対する備え

冬季は暖房器具を使うため地震時の火災リスクが高まります。暖房器具のそばには燃えやすいものを置かず、停電時に避難する際はブレーカーを落として、通電後の火災を防ぎましょう。

3. 寒さへの備え

地震で電気やガスが止まると暖房器具が使えなくなることがあるため、ポータブルの暖房器具があると安心です。また、避難する時のために、防寒着や防寒靴、毛布、カイロなどをあらかじめ用意しておきましょう。



<問い合わせ先 札幌管区気象台 地震火山課 電話：011-611-6125>

冬の準備はありますか？

後志では、東京にいたときには聞いたことがない相談を受けることがあります。「隣の家の屋根から落ちた雪で被害が出たので、(又は出そうなので) どうにかしてほしい。」とか、「隣の家から、『あなたの家の屋根から落ちた雪で被害が出たので賠償しろ』と言われて困っている。」という相談です。雪国特有の問題でしょう。

法律では、建物を利用している人、管理している人が、管理保存に問題があって、隣の家に損害をあたえたのであれば、その損害について責任をとることとなっております。

では、その建物を利用している人も管理している人もいなかったときは、どうでしょう？このときは、建物の所有者が責任をとることになっています。

民法は、以上のように建物の利用・管理をしている人(占有者)、さらには所有者に、故意・過失を問題とせずに重い責任を課しています。ただ、占有者も所有者もいないときは、どうなるのでしょうか？

1つには、建物の利用・管理をしていた人がそのまま責任を負うことが考えられます。建物を利用・管理していた人や、建物の所有者が亡くなり、その相続人が相続放棄をした場合も、相続人は、法律で、他の人が管理を始めることができるまで管理を継続しなければならないとされています。

ただ、この管理は、一種の事務管理で、建物の価値の維持保全が目的なので、周りの人に対する責任を根拠づけることはできないという考え方もあります。

最後は少し難しい話になってしまいましたが、誰も利用・管理していない建物の場合、その建物の屋根から雪が落ちたとしても、誰も責任を負う人がいないということもあり得るので、そんなあやしい建物が近くにある人は、ちょっと気を付けてくださいということです。

岩内ひまわり基金法律事務所 齋藤弁護士の法律豆知識
岩内ひまわり基金法律事務所 TEL:0135-61-4777

とまり広報10月号で配布しました「泊村 助成制度を活用しよう！定住パンフレット」の「長寿者褒賞支給事業の資格要件」に誤りがありましたので下記のとおり訂正させていただきます。深くお詫び申し上げます。

長寿者褒賞支給事業

内容 長寿のお祝いとして支給します。

- ・ 90歳に達成した方 35万円
- ・ 95歳に達成した方 35万円
- ・ 100歳に達成した方 30万円

資格要件

誤

村内に引き続き30年以上住所を有し、かつ現に10年以上居住している方。



正

満90歳、95歳及び100歳に達する日において、村内に30年以上住所を有する者
上記に規定する日において、現に他市町村の老人施設に入所のため、村内に住所を有しない場合であっても、入所前に規定する住所を有する年数を満たしている者(他市町村の老人施設へ入所した場合、褒賞の対象とする期間は転出日より5年間とする。)

<お問い合わせ先 泊村役場企画振興課 電話：75-2877>

冬の暴力追放運動

◎ねらい

『冬の暴力追放運動』は、暴力団の根絶によって道民の安全で平穏な生活の確保、社会経済の健全な発展及び青少年の健全な育成をはかり、安全で安心な北海道の実現をめざして実施するものです。

道内の暴力団は、警察の厳しい取締り、北海道暴力団排除条例の施行、及び地道な道民の暴力団排除運動によって減少化・孤立化傾向を示しています。

しかし、その一方で暴力団は、組織の維持拡大を狙って対立抗争を繰り広げ、銃器を使用した殺傷事件を起こすなど、その悪質、凶暴さを露わにしております。

資金獲得活動においては、その身分を隠蔽、偽装して狡猾に社会経済システムに入り込み、企業・行政を対象として、さまざまな資金獲得活動を活発化させているほか、コロナ禍を利用して国からの補助金を騙し取ったり、更には、ネットを利用した特殊詐欺で高齢者のみならず幅広い層にまで攻撃を仕掛けており、道民に多大な被害を与えております。

また、青少年をめぐるっては、威力を用いて特殊詐欺事件へ引き込むなど、その影響が強く懸念されるところであります。

そのため、学校の冬休み期間中に合わせ、各関係機関

くらしの告知板

泊村役場総務課 ☎ 75-2021

と連携して暴力追放のための運動強化期間を設定し、道民総ぐるみの運動として道内全域において実施するものです。

◎実施期間

令和3年12月15日(水)～令和4年1月14日(金)

◎主唱

公益財団法人 北海道暴力追放センター
各方面地域暴力追放運動推進協議会
各地区暴力追放運動推進協議会
公益財団法人 北海道青少年育成協会

◎協賛

公益財団法人 北海道防犯協会連合会
北海道少年補導員連絡協議会

◎後援

北海道・北海道警察・北海道教育委員会

◎運動の重点目標

- 暴力団の違法な資金獲得活動の実態周知と被害防止
- 少年に対する暴力団の影響排除と環境の浄化

北海道森林管理局 令和4・5年度 国有林モニター募集

北海道森林管理局では、国民の皆様には国有林の役割や現状等をご理解いただくとともに、国民の幅広い意見を把握し、国有林野の管理経営に役立てることを目的に、令和4・5年度の「国有林モニター」を下記のとおり募集します。

募集人数 48名

依頼期間 令和4年4月から令和6年3月まで（2年間）

依頼内容 ・国有林や森林・林業に関するアンケート調査への回答

・モニター会議（国有林の役割や現状等説明と意見交換、年1回）への出席

・現地見学会（国有林の作業現場の見学や体験、徒歩移動あり、年1回）への参加

応募資格 北海道にお住まいで、国有林に関心のある満18歳以上（令和4年4月1日時点）の方。

※国会及び地方議会の議員、地方公共団体の長、常勤の国家公務員、林野庁OB、森林・林業担当の自治体職員は除きます。

募集期限 令和4年2月18日（金）（必着）

応募方法 以下の必要事項をご記入の上、郵送・FAX・メールのいずれかの方法で、下記応募先までご応募ください。

①氏名（ふりがな）、②性別、③住所、④郵便番号、⑤年齢（令和4年4月1日現在）、⑥職業、⑦電話番号、⑧メールアドレス（お持ちの方のみ）、⑨国有林モニターを知ったきっかけ（〇〇新聞、〇〇のホームページなど）、⑩応募理由（100字程度）

※応募いただいた個人情報は、国有林モニターに関する目的以外には使用いたしません。

選考結果 ・国有林モニターに選ばれた方には、令和4年3月末までに依頼状の発送をもってお知らせします。

・選考内容に関する情報は非公開とさせていただきます。

その他 ・会議、見学会の旅費・宿泊費については、国家公務員の旅費規定等に基づく額を支給しますが、国有林モニターは無報酬となります。

・アンケートの回答、見学会等の様子はホームページや広報誌等で公表することがあります。

・林野庁や森林管理局の広報資料などを定期的にお送りします。

・個々のご意見、ご要望に対して個別に回答することはいたしませんので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ（応募先）

・林野庁 北海道森林管理局企画課

国有林モニター担当

〒064-8537 札幌市中央区宮の森3条7丁目70番

TEL 011-622-5228

FAX 011-622-5194

E-mail h_kikaku@maff.go.jp

確定申告は e-Tax で!

国税庁ホームページでは、パソコン・スマートフォンなどから、所得税・消費税・贈与税の申告書を作成し、e-Tax（電子申告）で提出することができます。

なお、e-Taxで、提出する方法は、マイナンバーカードを使用する方法と税務署が発行するID・パスワードを使用する方法がありますが、マイナンバーカードをお持ちでない方は、税務署において、ID・パスワードの発行が可能ですので、早めの手続きをお願いします。

※注1 ID・パスワードの発行のためには、必ず申告するご本人による手続きが必要となります（代理の方にはID・パスワードの発行はできません。）

※注2 手続きには運転免許証や健康保険証などの本人確認書類が必要となります。

※注3 既にe-Taxの利用者識別番号をお持ちの方は、お手数ですが、利用者識別番号の分かる書類（例：過去の確定申告書の控え等）をお持ちください。

詳しくはこちら→



ID・パスワードに関するお問い合わせ

・倶知安税務署 個人課税部門

電話 0136-22-1192（代表）

※アナウンスが流れましたら②番を選択願います。

自衛官を募集します

募集種目	受験資格	受付期間	試験期日
自衛官候補生（第7回）	男子 採用予定月の1日現在18歳以上33歳未満の者	令和4年1月1日（土）～2月10日（土）	令和4年2月20日（日）・21日（月）
	女子		

お問い合わせ

・倶知安地域事務所
倶知安町南3条東1丁目
電話 0136-23-3540

・役場担当窓口 総務課
電話 75-2021

・自衛官募集相談員
大橋 芳之
電話 75-3307



令和3年度 村税について

国民健康保険税 第7期 1月6日（木）
道 村民税 第4期 1月31日（月）

納入期限を忘れずに納めましょう。

年末年始の各施設休館等のお知らせ

施設等	12月						1月						
	26日 (日)	27日 (月)	28日 (火)	29日 (水)	30日 (木)	31日 (金)	1日 (土)	2日 (日)	3日 (月)	4日 (火)	5日 (水)	6日 (木)	7日 (金)
役 場	休み	平常					休み					平常	平常
保 育 所	休み	平常			午前保育 一部15時 30分まで		休み					平常	平常
茅沼診療所	休み	平常		12時 から 休み		休み			平常		平常	平常	
泊歯科診療所	休み	平常	休み								平常	平常	
泊村アイス センター	平常	休み	平常				休み					平常	平常
デイサービス センター	休み	平常					休み					平常	平常
老人入浴バス	休み	平常					休み					平常	平常
通 院 バ ス	休み	平常				休み				平常		平常	平常
ごみの収集	休み	燃や せる ゴミ	休み	燃や せない ゴミ	資源 ゴミ		休み					資源 ゴミ	燃や せる ゴミ

お休み中の急を要する用件については、日直にご連絡下さい。電話番号 75-2021

※アイスセンターの時間につきましては、トレーニングルーム・体育館の時間です。アイスアリーナにつきましては、お問い合わせ下さい。

- 30日 御用納め
- 27日 令和3年第2回岩内・寿都地方消防組合議会臨時会（岩内町）
長と対談
- 24日 北海道電力(株)取締役会長・取締役社長と対談
北海道危機管理監外と対談
- 20日 岩内・寿都地方消防組合泊支署業務報告
岩内・寿都地方消防組合泊支署業務協議
日本ハムファイターズ北海道179市町村応援大使担当者との対談
- 15日 北海道電力(株)泊原子力事務所長外と対談
- 11日 岩内地方衛生組合例月検査(岩内町)村政用務(札幌市)
- 10日 令和3年泊村議会第4回定例会
議
- 9日 後志総合振興局地域政策部長外と協対談
- 8日 経済産業省原子力立地政策室長外と対談
- 7日 小樽開発建設部次長外と対談
- 6日 総務経済常任委員会
村政懇談会
- 1日 次期漁場整備長期計画の策定に係る意見交換会(札幌市)
- 1日 村政懇談会

12月
村長のうらさき

戸籍の窓

令和3年11月16日～12月15日

いじめいぶくをお祈りします

【死亡】

(興志内) 松本 常雄さん 73才
12月4日 死亡

【転出】

石狩市 1人 小樽市 1人



とまり木文芸

俳句・川柳

着ぶくれて 寒い季節を 我慢する 泊海山
今年こそ 金持願う 初詣 泊海山
薄氷り 踏むか跳ねるか ばばの勇姿 武井和子
紅葉狩り 神の絨毯 そつと入り 武井和子
ニシン漬け 亡き母思う お正月 鳴海
ドラ年も 何がなんでも 卓囲む 鳴海
昔話 其の二
真冬の朝の顔洗い、水瓶の表面に張ったスガをひしゃくで割って水を洗面器に移し、顔を洗う。その冷たさは、ひやつこいを通り過ぎていく。いつか、我が家にもガス瞬間湯沸器が付き、お湯で顔を洗う、言葉では言い表せないくらいありがたかった。
小川 晃

短歌 (496)

近江谷乃婦
庭の木は雪の重きに堪えてをり風の来ぬ間の雪をかつぎて
立花 孝子
来るとしは佳き事多くと願ひつつ智状は出せずして寒中見舞となす
吉田智恵子
日勝の峠ちらほら雪が舞う紅や黄色の晩秋の旅
乃 婦
餅つき機白やよもぎの餅をつく臼ひと音のリズムよろしく
無名女
今見る陽も幼き日に見た陽も沈みながらあまたの暮しを限りなく照らす
沙 羅
師走なる最後の日づけ書き終える日記の明日は令和四年
与詩三
百歳まで生きるぞ悪たれ人生死んでたまるか満九十歳
狂歌く大田悪口人
理不尽な誹謗中傷受けたなら死に向わずにスマホを壊せ

人のうごき

	前月比	外国人	外国人を含む
世帯	861戸 -2戸	3戸	864戸
人口	1,523人 -1人	5人	1,528人
男	730人 -1人	1人	731人
女	793人 ±0人	4人	797人

地区別の世帯と人口

	世帯	人口
泊地区	266戸 -1	516人 -1
盃地区	162戸 +1	284人 +2
茅沼地区	151戸 -2	287人 -2
老人ホーム	83戸 -1	83人 -1
洪井地区	144戸 +1	241人 +1
堀株地区	55戸 ±0	112人 ±0
計	861戸 -2	1,523人 -1

[3.11.30 現在 住民基本台帳]

交通安全

毎年展開
デイ・ライト
(昼間点灯)
運動実施中!



1月 泊村カレンダー

☆がついているのは事前予約制です

日	月	火	水	木	金	土
12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1 北内科クリニック (☎62-1457) 若林調剤薬局 (☎62-0698) 青山歯科クリニック (☎61-4180)
2 岩内協会病院 (☎62-1021) アイン薬局岩内店 (☎62-5150) ファミリー歯科クリニック (☎73-2777)	3 大井内科消化器科医院 (☎62-0986) 若林調剤薬局 (☎62-0698) 井筒歯科医院 (☎62-8000)	4	5 ☆弁護士無料法律相談会 (☎62-8373)	6 	7 	8
9 前田診療所 (☎73-2211) 日の出薬局 (☎62-2250)	10 岩内大浜医院 (☎61-2081) アイランド薬局いわない店 (☎61-4040)	11 水道使用料徴収 (渋井集会所 9:30~10:30) (茅沼集会所 9:30~10:30) (盃集会所 13:00~14:00) 	12 ☆弁護士無料法律相談会 (☎62-8373) 	13 更新時講習(泊村公民館) 優良講習 13:30~14:00 違反者講習 14:30~16:30 	14 	15
16 発足診療所 (☎74-3009)	17 水道使用料徴収 (堀株集会所 9:30~10:30) (泊集会所 9:30~10:30) (照岸・糸泊集会所 13:00~13:30) 	18	19 ☆弁護士無料法律相談会 (☎62-8373) 	20 ☆弁護士無料法律相談会 (☎75-2021) ☆出張年金相談 岩内地方文化センター 10:30~16:00 (☎0134-65-5002) 	21 	22
23 岩内協会病院(☎62-1021) アイン薬局岩内店(☎62-5150)	24 不燃ごみ 受入停止日 	25 行政相談 泊村公民館 13:00~16:00 水道使用料徴収 (盃集会所 13:00~14:00)	26 ☆弁護士無料法律相談会 (☎62-8373) 	27 	28 	29
30 石山内科クリニック(☎62-3223) 菜の花調剤薬局(☎62-2287)	31 					